

4-02 志願者・受験者・合格者・入学者数の推移

【現状説明】 アドミッション・ポリシーに基づき、質の高い学生の確保を目標とした入試を実施しています。

大学	2022 年度入試の総志願者数（特別選抜を除く）は、前年比 4.5%増加しましたが、前年度の大幅減の反動によるものです。 栄養科学科は、前年比 26.6%増加し、一般選抜の B 方式で理科の履修制限緩和による志願者数の増加が要因となりました。全国的にも生活科学系の人気低迷の傾向が継続している中、全国トップクラスの管理栄養士国家試験合格者数と就職実績により、毎年、本学科を第一志望とする受験者が多いことが特徴です。 フード・マネジメント学科は、総合型選抜や一般選抜 A 方式における文系 3 科目型の新規実施により、前年比 31.7%増加しました。特に、一般選抜においては、前年度のボーダーラインが著しく下がったことで敬遠が回避され、さらに、一期生の食産業界への安定した就職が明確になり、高校教員や保護者による勧めやすさから増加に転じたとも考えられます。 教育学部は、前年比 1.9%減少し、2019 年度入学試験以降、志願者は右肩下がりとなっています。教員の労働環境等に対するマスコミ報道を受け、受験者の教育系統からの分野離れも要因の 1 つとして考えられます。難関の小学校教員採用試験において、当学部の今春の卒業生は 85.1%と過去最高の合格率となり、今後の分野人気の回復に繋がることが期待されます。また、幼稚園教諭や保育士を目指す受験者に対しても募集を強化しています。 流通科学部は、前年比 10.2%減少し、学校推薦型選抜・一般選抜ともに大幅に減少しました。特に福岡県内からの志願者の減少が目立ち、一般選抜においては、県内の同系統大学と入試日程が重複し、分野希望者の出願が分散しているものと思われます。海外協定校への派遣留学を支援するグローバル人材育成選抜は、コロナの収束が見られず 2 年目も志願者は横ばいでした。初年度に当選抜で入学した学生が 2022 年 8 月に協定校への留学を予定していますが、今後の社会状況の変化が志願者にも影響するものと思われます。
----	---

短期大学部	2022 年度入試の総志願者数（特別選抜を除く）は、前年比 0.8%減少しましたが、毎年、中村学園大学の同系統分野の志願が大きく影響しています。 食物栄養学科では、前年比 31.2%増加しました。大学栄養科学科の志願者増加による学内併願者の増加が要因となり、一般選抜においては大学を超える高い競争倍率となりました。 幼児保育学科は、総合型選抜を新規で実施したものの、前年比 4.5%減少し、過去最低の志願者数となりました。経年で見ても、短期大学部 3 学科間で最も志願者の減少が大きくなっています。特に、県外からの志願が減少しており、コロナも影響し、地元の養成校へ流れているものと予測されます。 キャリア開発学科は、前年比 23.5%と大幅に減少しました。しかし、幅広い進路希望や受験者層に対応した総合型選抜や公募制Ⅱ期など、多種の入試制度の実施が入学者の確保に繋がっています。特に、男子の入学が 32 名と大幅に増加し、編入学制度の PR 効果も志願に繋がっています。 本学の短期大学部の志願者は、一般選抜において大学との併願受験者が多く、短大でありながら大学受験層と同等の学力レベルの受験者が多いことが特徴です。大学・短期大学部間の第二志望制度においても利用が増加傾向にあります。 また、短期大学部全体で編入学支援を強化しており、毎年 40 名近くが編入学をしています。その多くが中村学園大学への編入学で、大学との併設により入学後の進路選択の幅が広がっています。 例年の安定した就職率も加わり、高校現場のみならず、社会からも栄養士や保育士、幼稚園教諭などの免許や資格に強い学校、キャリア開発学科の正規雇用での就職支援に対しても一定の評価を受けていることから、毎年、入学定員を満たす学生を受け入れることができます。
-------	---

4-02 志願者・受験者・合格者・入学者数の推移

【現状説明】 アドミッション・ポリシーに基づき、質の高い学生の確保を目標とした入試を実施しています。

大学院	大学院の総志願者数は、昨年度と比較して 14 名から 20 名に増加しました。 3 研究科の中で唯一、博士後期課程がある栄養科学研究科では、昨年度は志願が無かったものの、今年度は 1 名の志願・入学となっています。 教育学研究科においては、社会人特別入学選考において毎年一定数の志願がありますが、2019 年度から開設した教育学研究科修士課程（社会人 1 年制）においては開設以降、志願者が出ていない状況です。 流通科学研究科では、入学者のほとんどが中国人であり、日本人学生の確保も課題となっています。 進学促進および内部進学者の維持・向上に向けた取り組みとして、中村学園大学卒業生を対象にした給付型の奨学金制度を設け、経済的な負担軽減を図っています。 また、各研究科の入試説明会開催においては、学内外への告知強化やオンライン開催に加え、ホームページに大学院案内を掲載するなど、教育・研究内容を広く公開しており、今後の志願者および入学者の安定的な確保に努めています。
-----	---